

指導と評価の年間計画（シラバス）

1 学年ー共通

教科	水産	科目	水産海洋基礎B	単位数	2単位
年次	1年次	学科・コース	海洋科		
使用教科書		水産海洋基礎（海文堂出版株式会社）			
副教材等		必要に応じてプリント等を用意			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・水産や海洋の各分野における共通の基礎科目として、水産や海洋について様々な角度から学びます。
- ・水産業や海洋関連産業の概要及び将来就職する際の社会的意義や役割を理解しよう。
- ・実践的、体験的な活動を通して、自分なりに課題を発見・考察し、解決に向けて取り組んでみよう。

2 学習評価（評価規準と評価方法）

学習目標	水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、水産業や海洋関連産業において必要となる基礎的な資質・能力を育成することを目指す。		
観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	水産業や海洋関連産業で必要な、基礎的な技術を身に付けている。	海、水産物及び船に関する活動を通して課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	海上を中心とする集団行動を通して自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポート、観察・実験 ・定期考査、実技テストの結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポート、グループ討議・発表 ・定期考査、実技テストの結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・ノートやワークシートの記述 ・レポート、グループ討議・発表 ・自己評価、相互評価等 ・（ポートフォリオ）
学習のまとめ（単元等）ごとに、上に示す観点に基づいて、評価規準を設定し、A（十分満足できる）、B（おおむね満足できる）、C（努力を有する）の3段階で評価します。また、それらの評価を基に学年末に5段階の評定にまとめます。そのために学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

3 年間の学習計画等

学期	単元	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学 期	編網 (1)本目結節 (2)かえる又結節 (3)脇節の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・編網道具の名称や役割を必要な知識や技術と関連付けて理解している。 ・漁業における編網の役割を理解し、異なる結節方法について基礎的な知識や技術を習得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結節方法について課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・編網実習を通して、自ら学び、主体的かつ協働的に並びに粘り強く取り組もうとしている。
	ダイビング (1)器材の名称、取扱い (2)マスククリア (3)シュノーケルクリア (4)シュノーケリング (5)ヘッドファースト	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイビング器材の名称や役割を必要な知識や技術と関連付けて理解している。 ・ダイビング技術について基礎的な知識や技術を習得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水中での安全確保やダイビング技術の課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイビング実習を通して、自ら学び、主体的かつ協働的に並びに粘り強く取り組もうとしている。
	カッター ・各部名称と役割 ・人員確認の方法 ・オール的位置、持ち方 ・漕艇 ・着岸、離岸	<ul style="list-style-type: none"> ・カッターの各部名称と役割、構造について必要な知識や技術と関連付けて理解している。 ・漕艇技術について、安全配慮も含め基礎的な知識や技術を習得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カッターの役割、構造、及び漕艇技術や安全配慮についての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カッターの役割、構造、及び漕艇技術や安全配慮について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

2 学 期	機動艇（小型船舶） ・船外機の名称，取扱い ・法定備品 ・交通法規	・船外機の各部名称と役割，構造について必要な知識や技術と関連付けて理解している。 ・操縦技術について，安全配慮及び交通法規も含め基礎的な知識や技術を習得している。	・船外機の役割，構造，及び操縦技術や安全配慮，交通法規についての課題を発見するとともに，合理的かつ創造的に解決しようとしている。	・船外機の役割，構造，及び操縦技術や安全配慮，交通法規について自ら学び，主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	結索（ロープワーク） ・ロープの種類と役割 ・ロープの結び方	・ロープワークの種類と役割，構造について必要な知識や技術と関連付けて理解している。 ・ロープワーク技術について基礎的な知識や技術を習得している。	・ロープワークの役割，構造及び結び方についての課題を発見するとともに，合理的かつ創造的に解決しようとしている。	・ロープワークの役割，構造及び結び方について自ら学び，主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
3 学 期	各科内実習体験 （海洋技術コース） ・レーダ ARPA シミュレータ （機関コース） ・機関シミュレータ ・ガス切断 （栽培工学コース） ・魚の解剖 ・プランクトンの観察 （情報通信科） ・計測実習 ・モールス通信 （食品工学科） ・アジ・サバ開き実習	・各科・コースの実習内容における必要な知識や技術と関連付けて理解し，基礎的な技術を習得している	・各科・コースの実習体験を通して，現状や今後の見通しについての課題を発見するとともに，合理的かつ創造的に解決しようとしている。	・各科・コースの実習体験を通して，自ら学び，主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

※上記の内容は授業の進度によって変更される場合があります。